

令和7年度地域に飛び出せ大学生！おかやま元気！集落研究・交流事業 応募用紙

1. おかやま元気！集落名及び集落代表者

集落名	高田地域	代表者	前原 知明
-----	------	-----	-------

2. 集落の現在の状況・課題

同地域は旧津山市内の北西部に位置し、4つの集落で形成。元気集落登録の平成25年から12年間で人口が336人減少し高齢化率も14%増加している(令和7年1月1日現在の住民基本台帳より)。
平成25年に地域運営組織となる「高田町づくり協議会」を立ち上げ、広報調査部会、総務・文教部会、環境生活部会、産業農林部会の部会を組織し、各分野で課題の解決や新しい取り組みについて協議し、活動している。しかし、人口減少、高齢化にともない、住みよい地域としてありつづけられるように戦略が必要となる。

3. 大学からの企画・立案を受けたい分野(特に希望するものを3つまで選択してください)

<input type="checkbox"/> 1. 観光・情報発信 <input type="checkbox"/> 2. 地域産品の開発・PR <input checked="" type="checkbox"/> 3. 農林水産・鳥獣害対策 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 交流人口・関係人口の拡大 <input type="checkbox"/> 5. 空き家対策 <input type="checkbox"/> 6. 教育・文化活動 <input type="checkbox"/> 7. 福祉（見守り・移動支援等） <input type="checkbox"/> 8. 防災 <input type="checkbox"/> 9. ICT・デジタル化	<input type="checkbox"/> 10. その他（1～9以外の分野を希望する場合は下記欄に具体的にござ 例：地域の現状や課題の把握から始めたい。
---	---

4. 3で回答した分野について大学にどのように関わってほしいか記入してください。

高田地域は12年以上にわたり、地域課題解決に取り組んでおり、地域の特徴である農地、里山を活かし、行者ニンニクを栽培し試食会を開催、地元高校の学生を受け入れ竹林を提供しものづくり教育への協力などを行っている。

しかし、近年鳥獣(イノシシ・鹿・熊・カラス・ヒヨドリ等)の里への出没が顕著で、農作物の被害や農地荒廃が増大している現状がある。高齢化によりハンターは減少している。予防策として電気柵を張りめぐらせているが、効果的とはいえず、地域で試行錯誤している。

住みよい地域として有り続けるためには、地域の特徴である農地、里山の維持管理は必要不可欠と考える。学生の柔軟で新しい発想に触れることで、関係人口の拡大と地域の活動に大きく影響を与えることを希望する。

5. 連携を希望する大学があれば記入してください。

大学名		研究室名	
-----	--	------	--

6. 市町村連絡先

市町村名	津山市	所属・役職・氏名	地域づくり推進室・主事・楠田
電話番号(直通)	0868-32-2032	E-mail	chiikizukuri@city.tsuyama.lg.jp

たかた
津山市「高田地域」の取組概要

地域の概要

- 人口 1,988人
- 高齢化率 36.7%
- 集落数 4集落
(R7.1.1)



取組の経過

旧津山市の北西部に位置し、景勝地“横野の滝”を有する自然豊かな地域です。

また、紙漉き等の伝統工芸が盛んで、金箔合紙を製造し、京都や金沢の金箔工芸品制作などにも寄与しています。地区内にある高田神社では、秋の大祭に県重要無形文化財の獅子舞が演じられます。

高田地域ではこれまで、地域歴史文化の研究や愛育委員による健康指導など、各団体がそれぞれに活発な活動を行ってきましたが、過疎化・高齢化が進む中、地域住民の力を有効に効率よく活用するために各団体が連携した協議会を立ち上げました。

広報調査部会、総務・文教部会、環境生活部会、産業農林部会の部会を組織し、各分野で課題の解決や新しい取り組みについて協議し、活動していきます。

令和4年度からは津山工業高校の学生を受入れ、地元の竹林を提供し、学生のものづくり教育への協力と、製品開発に関わっています。

推進組織

高田町づくり協議会

地域の特徴

農地、里山を活かした産業の推進

代表的な取組

○農地・山里の産業の推進

農業部会が中心となり、行者ニンニクや山わさびの栽培に取り組んでいます。地域の特産品づくりを目指し、収穫した行者ニンニクは、試食会を開き、子ども達と一緒に試食しました。子ども達にも好評で、今後特産品としての可能性を感じています。



○公民館中心の地域づくり

公民館文化祭の開催や、子どもの居場所づくりとしての高田公民館子ども教室での囲碁教室やモルック体験など、地域をあげての子育て体制づくりに取り組んでいます。



令和7年度地域に飛び出せ大学生！おかやま元気！集落研究・交流事業 応募用紙

1. おかやま元気！集落名及び集落代表者

集落名	西粟倉村大茅	代表者	大茅地区活性化協議会 井上義徳
-----	--------	-----	-----------------

2. 集落の現在の状況・課題

過去3年間この事業で岡山理科大小田研究室と地区に残る「大茅区有文書」をweb上で解読するサイトを作成して来て現在ほぼ運用段階になっている。次の段階としてこのサイトで解読した代表的な20文書程度を解り易く漫画化した冊子及びそれらの動画を2～3年掛けて作成を予定している。
地区でスキルのあるのは1名なので、達成は中々困難と思われる。

3. 大学からの企画・立案を受けたい分野(特に希望するものを3つまで選択してください)

<input type="checkbox"/> 1. 観光・情報発信 <input type="checkbox"/> 2. 地域産品の開発・PR <input type="checkbox"/> 3. 農林水産・鳥獣害対策 <input type="checkbox"/> 4. 交流人口・関係人口の拡大 <input type="checkbox"/> 5. 空き家対策 <input checked="" type="checkbox"/> 6. 教育・文化活動 <input type="checkbox"/> 7. 福祉（見守り・移動支援等） <input type="checkbox"/> 8. 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 9. ICT・デジタル化	<input type="checkbox"/> 10. その他（1～9以外の分野を希望する場合は下記欄に具体的に記入ください。） 例：地域の現状や課題の把握から始めたい。
---	---

4. 3で回答した分野について大学にどのように関わってほしいか記入してください。

6年度、地区の史跡のパンフレット、看板作製を行いその過程で、漫画、動画作成を行い、次の可能性を見出す。今回はかなりのボリュームになるので地区の方、1人では達成困難と思われる。その為漫画等に関心のある学生に関わって頂きたい。



5. 連携を希望する大学があれば記入してください。

大学名		研究室名	
-----	--	------	--

6. 市町村連絡先

市町村名	西粟倉村	所属・役職・氏名	総務企画課・主事・白旗 諒
電話番号(直通)	0868-79-2111	E-mail	r-shirahata@vill.nishiawakura.lg.jp

おおがや
西栗倉村「大茅地区」の取組概要

地域の概要

○人口	175人
○高齢化率	46.3%
○集落数	4集落 (R7.1.1)



R元年5月 芝桜

取組の経過

西栗倉村には12の行政区が自治組織として機能しています。どの地域も自治意識は旺盛ながらも人口減少と高齢化の進展と共に様々な困難が生まれてきています。大茅地域はかつて、最も人口の多い地区でしたが、大幅な人口減と高齢化に危機感を持っていました。自治会内の組織4カ所のうち1カ所は特に高齢化と人口減が激しく、単独の地域の維持が難しい状況にあります。

そのような中、平成26年度に自治会全体の結束を高め、地域活性化の一助とすべく、行政に頼ることなく地区の住民の手で、雪の多い地域性を生かしたイベントを村内外に呼びかけて実施しています。そして平成27年度に継続性を重視し大茅地区活性化協議会（現：大茅地区地域活性化協議会）を設置し、10年先に予想される高齢化に対して、「やるなら今」と「花と文化の心ゆたかなふるさとづくり」を目指して活動を始めました。

推進組織

大茅地区活性化協議会

地域の特徴

西栗倉村の1/3の面積を持つ大茅地区は「若杉天然林」「1,100mの高原 ダルガ峰」「県下3位の駒の尾山」「大海里川滝群」等の本物の自然と祖先より引き継がれてきた文化遺産「大茅区有文書」を有し、これらを生かした取組を行っています。

代表的な取組

○芝桜一般公開

5年間で棚田の斜面に16,000株植付けた芝桜は「おおがや芝桜公園」として、令和5年度春には6,000人の来園者がありました。早く植付けした箇所より更新作業を行い、継続して美しい景観が維持できるよう努めています。

○ふれあい農園植付け、収穫体験

村外からの参加者を中心に、春から晩秋にかけ、ジャガイモ、黒枝豆、秋野菜の植付け、収穫体験をしています。

○地域資源を活用した「親子」でのイベント開催

夏休みに集落の史跡等のフットパス、少し勇気の要る源流の川上り、水中観察、川の砂鉄採集、魚のつかみ取りを行いました。

○「山村の暮らし、山仕事の技」を伝える冊子作り

令和2年度の地区長老達への聞き取り調査を踏まえ、80歳代以上の方を対象に聞き取りを行い、「山村の暮らし、山仕事の技」を伝える冊子作りを行いました。

○花木を植えて「耕作放棄地解消」の取組開始

寿命のある芝桜の補完として芝桜公園の周囲に花木の植栽を開始しました。最終的には「耕作放棄地解消」と「花の咲き誇る集落」を目指します。